

KUNST ARZT では、2年ぶり5度目となる、
三宅佑紀の個展を開催します。

三宅佑紀は、記憶の中にある一場面を、
記憶だけを頼りに表現するアーティストです。

本展は、アーティスト独自の見せ方として確立してきた
「絵画作品を床に平置き展示する」構想です。

まるで落ち葉のように重力からも解放された軽やかさと、
天井照明を均一に受けることで、独特の淡いパステル描写
が壁面展示とは違う表情を見せます。

また本展タイトルの「ミルラ」とはミイラの語源ともな
った香料であり、永遠に保存されるようにとの願いを託して、
ミイラに巻く布を浸したそうです。ミルラを感じるように、
床置き作品たちの大切な記憶を鑑賞ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



夜のスケッチ#14・15
2022、ケント紙にパステル、788×1091mm×2
photo by Ayumi OKAMOTO

展覧会コンセプト

ミルラというのはミイラの語源となった香料だそうだ。読んでいた小説の中で見かけて初めて知った。
中身が永遠に保存されるよう、最後にミルラに浸した布で包むという。
布を解くまでは記憶の中では中身は変わらない姿のままあり続ける。
本を読みながら、私の記憶はまだしばらくは包んだままにしておきたいと思った。

略歴

1994年 岡山県出身
2016年 成安造形大学美術領域洋画コース 卒業
2017年 成安造形大学美術領域洋画コース伊庭靖子研究室 研究生 修了

個展

2015年 「あのね、」【キャンパスが美術館】ギャラリーキューブ、成安造形大学
2016年 「ここら ところら」KUNST ARZT、京都府
2018年 「とおくで ささやく」KUNST ARZT、京都府
2019年 「ラベンダーの箱」KUNST ARZT、京都府
2021年 「はぐれた落ち葉」KUNST ARZT、京都府

主なグループ展

2014年 京展 館長奨励賞、京都市美術館、京都府 (2015年 同 入選)
2015年 上野の森美術館展、上野の森美術館、東京都 (2016年 同 入選)
2016年 landscape、【キャンパスが美術館】アートサイト、成安造形大学、滋賀県
2016年 FINE ART/UNIVERSITY SELECTION、つくば美術館、茨城県
2017年 京都府新鋭選抜展、京都文化博物館、京都府 (2018年 同)
2017年 第10回岡山県新進芸術家育成「I氏賞」、岡山シティーミュージアム、岡山県
2019年 地元現代美術作家展 ニューロケーション-視線の邂逅-、藤樹の里文化芸術会館、滋賀県
2021年 版画 tomorrow、ギャラリーマロニエ、京都
2021年 三人展「となりの空いた席」、+2、大阪
2022年 てんかいするメソッド、【キャンパスが美術館】アートサイト・ギャラリーウインドウ、成安造形大学
2022年 自我像展、ギャラリーマロニエ、京都

2023年6月20日(火) から 25日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティストステートメント

あまりにも長い時間が過ぎてしまうと、記憶というものはどれだけ大切にしまっておいても、そのままを留めておくことは難しい。
ちょっとずつ失いながら、同時に日々少しずつ補って積み重ねていく。
今、頭の中に浮かぶ景色は、そうしてできあがったものかもしれない。
記憶が自分のなかでどのように存在しているのかということに興味を持ち、
油絵の具やパステルを用いて個人の記憶やそれにまつわる感覚を他者と共有できる方法を探っている。



夜のスケッチ#18
2023、
150 φ mm、
ケント紙にパステル
photo by Ayumi OKAMOTO



夜のスケッチ#14
2022
ケント紙にパステル、
788×1091mm
photo by Ayumi OKAMOTO



ミルラの布#01
2022
トレーシングペーパーにパステル
625×880mm
photo by Ayumi OKAMOTO



ミルラの布#01
2022
トレーシングペーパーにパステル
625×880mm
photo by Ayumi OKAMOTO